

No.	015	—	3001	事務事業名	地域公共交通に関する事務	細事務事業名		公的関与	6				
PLAN	課名	まちづくり課	係名	都市計画係	電話番号	089-964-4412	メールアドレス	machidukuri@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	非該当	事業期間	年度	～ 年度				
	総合計画	政策目標	第5章 自然と調和する快適な都市基盤のまち	政策項目	5 道路・交通網の整備	主要施策	(5)公共交通機関の利便性向上						
	事業の対象	交通空白地域、交通弱者（高齢者や子ども等）				根拠法令	地域公共交通活性化再生法、道路運送法						
	事業の目的	最終的	東温市に合った地域公共交通体系の構築等により、市民の移動手段を確保します。			今年度	市内バス路線での試験運行を継続して行います。バスの絵コンテストや路線バス体験乗車イベント等を実施し、公共交通の利用促進に積極的に取り組みます。						
	活動内容	①	市内バス路線での試験運行を継続して実施します。			④	山間部等で地域住民と公共交通をテーマにしたワークショップを実施します。						
		②	市内バス路線での取り組みに対する認知度や満足度を調査するために市全域でアンケート調査を実施します。			⑤							
		③	市内の小学生や幼児を対象にバスの絵コンテストや路線バスの乗車体験イベントを開催します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		東温市地域公共交通活性化協議会の開催回数	協議会での議論をもとに地域公共交通の活性化に取り組むため。		回	目標	4	4	4	4			
実績			4	3									
山間部バス路線の維持		東温市地域公共交通総合連携計画での目標		路線	目標		5	5	5				
		実績			5								
目標													
実績													
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	土木		費					
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	304 千円	996 千円	4,200 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	184 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	7,593 千円	343 千円	4,782 千円								
		計(A)	8,081 千円	1,339 千円	8,982 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.022 人	6,172 千円	0.496 人	3,000 千円	0.496 人	3,023 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		14,253 千円	4,339 千円	12,005 千円								
一次評価者	都市計画係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	廃止/休止
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	市民と交通事業者等をつなぐ役割として市が主体的に取り組んでいく必要があります。												
有効性	施策の目的を実現するために必要な手段を検討し、各種取り組みの基本となる計画を策定しました。この計画に基づき取り組んでいます。												
達成度	施策の目標を計画に定めており、この計画に基づき取り組んでいます。												
効率性	平成25年度で市内バス路線の試験運行が終了することから、試験運行後に効果的かつ効率的な取り組みが実施できるよう、検討を進めます。												
当面の課題	試験運行によって利用者数は増加していますが、1便あたりの利用者数は3人/日を下回っており、利用促進が課題となっています。												
改画	路線バスの乗降調査やアンケート調査等を実施し、試験運行後の次なる取り組みを検討し、実行していきます。												
二次評価者	まちづくり課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	持続できる市民の移動手段の確保が重要であることから、現在、試験運行を行っていますが、利用率の向上には繋がっておらず、この試験運行も今年度末に終了します。このため、利用者や地域の意見を反映した地域公共交通活性化プランの策定を進め、運行ダイヤの見直しやバス路線の廃止、また、需要に見合った公共交通の導入を検討し、公共交通の維持・活性化に努める必要があります。また、市民への公平なサービスの提供のため、交通空白地帯の解消についても検討する必要があります。												

No.	015	—	3002	事務事業名	土地区画整理事業に関する事務	細事務事業名	土地区画整理事業完了地区における維持管理に関する事務	公的関与	6				
PLAN	課名	まちづくり課	係名	都市計画係	電話番号	089-964-4412	メールアドレス	machidukuri@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第5章 自然と調和する快適な都市基盤のまち		政策項目	2 魅力ある市街地の整備		主要施策	(3) 人と環境にやさしい市街地づくり				
	事業の対象	土地区画整理事業が完了した地区				根拠法令							
	事業の目的	最終的	土地区画整理事業により構築された排水施設の良好な維持管理			今年度							
	活動内容	①	土地区画整理事業によって構築された排水施設、調整池等の汚泥除去			④							
		②				⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		排水施設の汚泥除去率		除去した汚泥量／蓄積汚泥の料		%	目標 100	100	100	100			
					実績 100	100							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	土木		費					
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	735 千円	735 千円	873 千円								
		一般財源	209 千円	109 千円	114 千円								
		計(A)	944 千円	844 千円	987 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.030 人 181 千円	0.025 人 151 千円	0.025 人 152 千円								
		臨時職員工数・経費	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円								
	全体事業費(A+B)		1,125 千円		995 千円		1,139 千円						
一次評価者	都市計画係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	土地区画整理事業によって構築された良好な住環境を維持していくために必要な事業です。												
有効性	浸水被害の発生を抑制するには、排水施設の機能を維持することが有効です。												
達成度	定期的に行う維持管理作業により、排水施設の機能が維持されています。												
効率性	住民の人力では管理しきれない施設については専門業者に委託し、機械による作業を行う方が効率的です。												
当面の課題	現在、整備中である志津川土地区画整理事業では5箇所の調整池が計画されています。土地区画整理組合からの施設移管は、平成28年度に予定されており、今後、維持管理費用の増大が懸念されます。												
改革計画	土地区画整理事業の施行者である組合及び、水路管理者である地元土地改良区と連携・協議し、順次完成した調整池を運用しながら効率的な管理体制を構築していきます。												
二次評価者	まちづくり課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	公共下水道の整備や宅地化により、汚泥の蓄積は年々減少していますが、ゲリラ豪雨時の浸水被害を防止するためには、雨水排水施設や調整池の維持管理が重要です。今後の維持管理については、検討を進め、地元への管理委託や他部署との連携により、事務の効率化を図る必要があります。												

No.	015	—	3003	事務事業名	愛媛大学医学部周辺整備に関する事務			細事務事業名		公的関与	3					
PLAN	課名	まちづくり課		係名	都市計画係		電話番号	089-964-4412	メールアドレス	machidukuri@city.toon.ehime.jp						
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	一部委託		実施計画	該当	事業期間	21年度～27年度						
	総合計画	政策目標	第5章 自然と調和する快適な都市基盤のまち		政策項目	2 魅力ある市街地の整備		主要施策	(2)市街地の計画的整備							
	事業の対象	愛媛大学医学部周辺地区					根拠法令	都市計画法、土地区画整理法								
	事業の目的	最終的	交通の利便性(伊予鉄道高浜横河原線)や公共施設(東温高校、愛媛大学医学部付属病院等)に恵まれた地区の地域条件を生かし、都市基盤の整備された良好な市街地の形成を図ります。					今年度	前年度に引続き、都市再生整備計画事業として、都市基盤施設の整備を行います。							
	活動内容	①	前年度に引続き、市道見奈良1号線改良及び志津川土地区画整理事業の工事を実施します。					④	志津川地区の公園整備工事に着手します。							
		②	市道樋口東温高校線の改良工事に着手します。					⑤	愛媛大学医学部周辺地区の浸水対策事業に着手します。							
		③	市道見奈良2号線の改良工事に着手します。													
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標					
		道路整備状況(歩きやすさ等)についての市民満足度	アンケート調査による道路幅員や歩道の歩きやすさ、路面状況等の道路整備状況に対する市民満足度(5段階評価の平均点)			点	目標	—	—	—	2					
防犯・防災対策に対する市民満足度			点	目標	—	—	—	3								
歩いて公園へ行ける区域の割合		事業区域内で公園・緑地へ徒歩5分程度で歩いて行ける区域の割合			%	目標	—	—	—	70						
	実績				実績	—	—	—								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	土木			費						
	直接事業費		平成	23	年度決算	平成	24	年度決算	平成	25	年度予算	備考				
		国・県支出金			80,464 千円			172,931 千円			350,803 千円	※)成果指標の基準値 1.道路整備状況 2.1点 2.防犯・防災対策 2.5点 3.歩いて行ける公園 27% 1,2は、H22年度に実施したアンケート調査結果による。 ※)目標値の確認は、H26年度に実施予定のアンケート調査等により把握する。				
		地方債			92,900 千円			231,800 千円			473,600 千円					
		その他特定財源			0 千円			11,153 千円			49,350 千円					
		一般財源			36,144 千円			34,869 千円			86,037 千円					
	計(A)			209,508 千円			450,753 千円			959,790 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	5.134 人		31,004 千円	5.111 人		30,916 千円	5.111 人		31,146 千円						
	臨時職員工数・経費	0.231 人		420 千円	0.231 人		433 千円	0.231 人		435 千円						
全体事業費(A+B)			240,933 千円			482,102 千円				991,371 千円						
CHECK・ACTION	一次評価者	都市計画係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
	項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)														
	必要性	大型施設(病院、学校等)により分断されている市街地の一体性を高め、都市基盤の整備水準を図り、地域住民の生活の向上と地域社会の活性化のため必要な事業です。														
	有効性	都市再生整備計画として国の認可を受けることにより、国の助成を受け、まちづくりに必要な事業が実施できます。														
	達成度	昨年度作成した「志津川まちづくりガイドライン」に沿って、志津川土地区画整理事業区域の都市計画の用途変更及び東温市地区計画の条例改正を行いました。														
	効率性	競争入札制度等を利用して、委託費や工事請負費の削減が図られました。														
	当面の課題	志津川土地区画整理事業における市道西岡下林線と愛大医学部西門を結ぶ幹線道路は、周辺の造成工事の完了により暫定的に開放していますが、通過交通が増大する傾向にあり、早期の完成が求められています。														
	改計画	歩行者の安全性の確保に留意し、警察(公安委員会)と協議を進め、幹線道路の早期完成に努めます。														
二次評価者	まちづくり課長		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実		
二次評価での指摘事項	志津川土地区画整理事業では、良好なまちづくりを目指し、計画的な都市基盤施設の整備を行うことが重要です。また、周辺の幹線道路の整備を合わせて行うことにより「歩いて暮らせるまち」に生まれ変わります。目標としている、安心・安全・快適なまちづくりのためには、住環境や街並みも大切です。策定した都市計画制限の適切な運用により、魅力ある市街地の形成に努めて下さい。															

No.	015	—	3004	事務事業名	生活交通バス路線運行事業補助金	細事務事業名		公的関与	3				
PLAN	課名	まちづくり課	係名	都市計画係	電話番号	089-964-4412	メールアドレス	machidukuri@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度	期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第5章 自然と調和する快適な都市基盤のまち	政策項目	5 道路・交通網の整備	主要施策	(5)公共交通機関の利便性向上						
	事業の対象	市内を運行するバス路線				根拠法令							
	事業の目的	最終的	地域住民の貴重な交通手段である路線バスの運行を維持確保します。			今年度	交通事業者へ運行助成を行い市内バス路線の維持を図ります。						
	活動内容	①	生活交通バス路線を維持するために、運行事業者に助成を行います。			④							
		②				⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		生活交通バス路線の維持		市内の生活交通バス路線数		路線	目標 10	11	11				
					実績 11	11							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	総務		費					
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	17,249 千円	28,458 千円	28,922 千円								
		計(A)	17,249 千円	28,458 千円	28,922 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.200 人 1,208 千円	0.149 人 901 千円	0.149 人 908 千円								
		臨時職員工数・経費	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円								
	全体事業費(A+B)		18,457 千円	29,359 千円	29,830 千円								
一次評価者	都市計画係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	2	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	マイカー等の移動手段を持たない住民の生活交通を確保するために必要な事業です。												
有効性	赤字運営の続く路線バス事業を維持するために有効な事業だと考えます。												
達成度	赤字額が年々増加する路線バス事業者の理解、協力を得て、既存路線を維持できました。												
効率性	利用減少に歯止めをかけるために、路線の新設や運行ダイヤ等の見直しにより、試験運行を継続しています。												
当面の課題	路線バスに限らず公共交通を取り巻く環境が年々厳しくなっており、運行欠損額(赤字)も増加傾向にあります。												
改革計画	地域公共交通活性化の取り組みと連携し、市内バス路線の維持に努めていくとともに、路線バス以外の公共交通の導入等、移動手段の確保策を検討していきます。												
二次評価者	まちづくり課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	市民の移動手段の確保のため、各地域に適した公共交通サービスの提供を継続しなければなりません。しかし、限られた予算内の事業であり、市民への公平なサービスの提供のため、運行ダイヤの見直しやバス路線の廃止、また、需要に見合った公共交通の導入を検討し、公共交通の維持・活性化に努める必要があります。また、必要な財源確保のために、国・県の補助制度の活用等を研究する必要があります。												